

事務事業名		下水道施設維持管理事業(都市下水路)				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造				事業期間		予算科目				
	施策名	04 良好な河川・港環境の保全						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 公共下水道等の整備				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成5 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		13	01	01	02	02
根拠法令		下水道法										
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所										
	課長名	千葉 譲										
	係名	管理・普及係	電話	0192-27-3111								
	担当者	鈴木恭子	内線	201								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・雨水や家庭雑排水等を速やかに排除するため、都市下水路の修繕・土砂撤去及び除草を行う。 ・下水道損害賠償責任保険への加入。 ・主な業務は、業務委託による除草作業、土砂撤去及び修繕工事である。 ・事業費は、除草作業・土砂撤去・修繕工事等について委託費として支出される。								全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
前年度実績(前年度に行った主な活動)			名称		単位				
下水道損害賠償責任保険への加入			ア 除草実施延長		m				
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			イ 土砂撤去量		m ³				
都市下水路の草刈り、土砂撤去、修繕工事等の委託 下水道損害賠償責任保険への加入			ウ 修繕工事		件				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
都市下水路			名称		単位				
			カ 都市下水路延長		m				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			キ						
都市下水路の草刈りや土砂撤去により、環境の美化を図るとともに、速やかに排水できるようにする。			ク						
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。			名称		単位				
			サ 苦情・要望件数		件				
			シ						
			ス						
(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	6	785	5	5	10,655	1,500
		一般財源	千円						
	人件費	事業費計(A)	千円	6	785	5	5	10,655	1,500
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	2	2
		延べ業務時間	時間	30	30	30	30	50	20
		人件費計(B)	千円	120	120	120	120	200	80
		トータルコスト(A)+(B)	千円	126	905	125	125	10,855	1,580
⑤活動指標	ア	m	0	0	0	0	1,590	1,590	
	イ	m ³	0	0	0	0	3	3	
	ウ	件	0	2	0	0	3	3	
⑥対象指標	カ	m	5,258	5,258	5,258	5,258	5,258	5,258	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0709	事務事業名	下水道施設維持管理事業(都市下水路)
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	土砂の堆積や雑草の繁茂により水路が溢れたり、悪臭等の発生の原因となることから事業に着手した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	水害の発生を未然に防ぎ、衛生的な環境を維持している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	住民からの土砂の撤去等や草刈りが望まれている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】	都市下水路の維持管理は、浸水の防止、生活環境の整備が図られ災害の予防ができる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】	公共施設の適正な維持管理(委託)は、市の義務であり、雨水排除は浸水防止等都市機能の保全に効果を発揮し妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】	雨水等速やかに排除するためにも意図を見直すことはできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	既存施設の機能確保のための事業であることから、成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	事業を廃止・休止すれば、雨水や家庭雑排水等を速やかに排除できなくなり、悪臭等の発生により環境が汚染される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	庁内に類似事業がない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	既設施設の維持管理の費用であり、事業費を削減することは、施工数量の減小を伴うことから困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	業務は委託しており、必要最小限の人員で業務を行っていることから、削減することは困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	雨水対策を下水道事業で行っているが、一般会計繰出基準で賄われているので適正である。

事務事業ID	0709	事務事業名	下水道施設維持管理事業(都市下水路)
--------	------	-------	--------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 震災以降、復旧・復興事業により、都市下水路の整備が行われたため、26年度の事業は下水道損害賠償責任保険への加入のみとなっている。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 特になし		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	下水道事業所長
	千葉 譲

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 都市下水路の役割は市街地における雨水排除による水路断面の確保と冠水防止である。 平成25～26年度は新田都市下水路の流下機能確保のため大規模な復旧・復興事業を実施したため、本事業での予算執行は損害賠償責任保険のみとなっている。																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成27年度からは、桜場・盛東部・新田都市下水路について、土砂撤去等必要に応じて維持管理を継続して実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
